

段 階	フ ロー チャート	指 導 内 容 ・ 指 導 上 の 留 意 点
<p>みつげる</p> <p>あてはめる</p> <p>ま と め</p>		<p>などか出ると思われるので早く計算できる方法を視点にえらばせる。</p> <p>5. $0.2 \times 7 = 1.4$になることをつかませ $\frac{0.2}{\times 7}$</p> <p>はどう計算したら 1.4になるか考えさせる。</p> <p>○ 0.2×7は $\frac{2}{14}$にしてから14に 1.4と小数点をつけることをつかませる。</p> <p>6. 練習題をやらせる。プリントによって実施する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>① 3.7×4 ② 0.4×2 ③ 8.5×6 ④ 20.3×5 ⑤ 2.5×8 ⑥ 2.4×53 ⑦ 8.2×231</p> </div> <p>7. 練習題の答えをTPで提出し、各自の誤りに気づかせる。 ●⑥と⑦は本時に学習した内容とちがうことを指摘し、次時の問題とする。</p> <p>8. 本時の演算方式についてまとめ、次時の予告とする。</p>
<p>②小数第1位の小数に2位数や3位数をかける場合も、1位数をかけるときと同じであることを理解させる。</p>		
<p>つ か む</p> <p>し ら べ る</p>		<p>1. 問題文を提示して読ませ、前時の最後に提出された問題であることを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>2.4×53 8.2×231のようにかける数が2けた、3けたになったときも、ひとけたのときと同じだろうか。</p> </div> <p>2. 問題に対する予想をたてさせる。なぜそう思ったかも言わせるようにする。</p> <p>3. 前時の計算方法について話し合わせ、本時の方向づけをする。</p> <p>4. 2.4×53でも、8.2×231でもよいかから1つえらんでどのように計算するか考えさせ、その理由づけをさせる。</p> <p>5. 何人か、傾向のちがった方法や理由を黒板に出て発表させる。</p>